あ　「あ行」の天草方言　「天草方言集　鶴田　功著」

あ…　あー…〈嗚呼〉Ah!　（感嘆詞）　「あーくたぶれた」
あーあ　がっかり　残念　疲れて気が抜ける　気落ちする
あーい　あい　古語【あーい】　はい(返事)　②そうです yes
あーく　古語【飽く】　飽きる　②満足する　心行く（短音長呼）
あーし　【足】　物の本体を支える部位《新和》(短音長呼)
あーしぇろこうしぇろ　あれやこれやしなさい　色々指示する
あーしんど〈嗚呼辛労・心労〉　あー疲れた
あーた　あた　あんた【貴方　貴男　貴女】you　②夫の呼称
あーたえ　あーたげ　あんたげ【貴家】　貴方の家
あーだこーだ　あーのこーの　あれやこれや　あれこれ
あーたし　あーたち　あんたち【貴方衆　貴方達】あなた方
あーたもあーた　あなたとしたことが　あなたらしくもない
あーっこ　…こいしょ　あよっこい　（感嘆詞）　あら嫌だ　②弱ったな
あーばんか　あばんか　歩きなさい《牛深》
あーゆふうじゃ　あいふうじゃ　あの様子では
あーんせろ　口を大きく開け　（幼児語）
あい【有る　在る】　「こけあいと」《有明・牛深》〈る→い転音〉
あい〈彼(あれ)　彼奴(あいつ)〉chap he 〔あの人〕の卑語(ひご)　《牛深》
あい【間】　古語【間(あひ)】　合間 interval　間合い　隙間　②中間　middle
あい【鮎】　川魚〈ゆ→い転音〉
あいーた　あいーや　はてどうしたものか　さて困った
あいーにゃ　あいにゃ〈間には〉　②中には
あいーろ　あうどかにゃ　あうどかね　会うだろうか
あいえーて　間をおいて　暫くして　間隔を取って　②後で
あいおい　やっと　ようやく　②なんとか《高浜》
あいか　あいかい　あるか　ありますか
あいかた　古語【相方】　相棒 partner　相手
あいがと　あいがつ　彼の物《牛深》
あいがや　あるじゃないか　あるはずだよ《牛深》
あいき　競い合う　競争　張り合う　対立する
あいぎゃけぇ　あいげぇけぇ《五和》　会いにお出で
あいきょ　あいきょう　古語【愛嬌(あいきゃう)】　愛敬(あいきょう)　愛想　会釈(えしゃく)
あいけんが　であるから　だから《有明》
あいこ【お相子】tie　引き分け　勝負が付かない　互角
あいさつにん〈挨拶人〉　口先だけの人　上辺だけの人
あいしこ　あいだけ　在る限り　在るだけ《牛深》
あいじゃーた　あいでーた　会うことができた

あいしょう【相性】　男女の気性が合うこと　②性格が合う
あいしょンわるか　性格が合わない　性格の不一致
あいそ《京》　あいそう　古語【愛想(あいさう)】　親しみ　②勘定(かんじょう)
あいそなしで　お持て成しができませんで（挨拶詞）
あいそもこそもなか　あいそもなか　あいそンなか
　古語【愛想もこそも尽き果てる】　すっかり嫌になる
あいそンなか　愛嬌がない　可愛げがない　無愛想
あいそンよか　あいそうンよか　応対や持て成しが良い
あいた【飽きた】　程度が過ぎて嫌になる　倦(う)む《京》
あいた　あいたし　あいたよし　古語【あ痛しこ】　アッ痛い
あいたしもた　アッしまった　あら失敗した（感嘆詞）
あいたか　あいてゃー　あおごたる　逢いたい
あいたぎゃー　あいたげー【相違い】　お互い様
あいださん　会えない　会う時間がない
あいちゃがや　…ちゃんば　…とさな　有るのですよ《牛深》
あいつぁ　あやつぁ　ありゃー【彼奴】chap〔彼は〕の卑語
あいで　だから　それで　でも《有明・牛深》
あいで　在るから　有るから《有明・牛深》
あいでさな　だからですよ　ですから《御所浦・竜ヶ岳》
あいと　あいとさな　あいとばな　あいばな　ありますよ《牛深》
あいどが　あいどもん　あるでしょう《牛深》
あいと おいと わい　彼と俺と君《有明・牛深》
あいと こいと そいと　あれとこれとそれと《牛深》
あいどん〈併し　然し〉but　だけど　でも《牛深》
あいどん　彼ら　奴ら《有明・牛深》
あいなか　古語【間中(あひ)】　合間 interval　中間 between
あいなきゃー　あいなけー《佐伊津　五和》　間に　中間に
あいにゃ　あいまにゃ　中間には　傍(かたわ)らには　時には
あいノて　古語【間の手】相槌　②片手間　時たま sometimes
あいばえん　あいばきらん　歩けない《牛深》
あいばって　あいばってん　そうだけど　でも
あいばん　あゆばん　歩かない　歩こうとしない
あいばんか　あいべ　あゆべ　古語【歩べ】　歩け
あいびあいび　あゆびあゆび　歩きながら
あいびえん　…きらん　あゆびえん　あゆびきらん　歩けない
あいびつけとる　歩き慣れている　常々歩いている
あいぶ　古語【歩(あゆ)ぶ】　歩く walk　②何かをして廻る
あいふうなろ　あいふうなろば　あんな状態ならば
あいふに　ああいう風に　あのように
あいべ　あゆべ　歩け　行きなさい

あいぼうだ　あゆぼうだ　歩きましょう　歩こうよ
あいぼれ　古語【相惚れ】相愛　お互いに好きになる《京》
あいま【合間】interval　物の間　②時間 time《京》
あいみたぎゃー　あいみたげー　古語【相身互い】　お互い様
あいみやー【歩み合】　歩み寄り　譲歩する
あいもん【間物】　中間服　夏と冬の間に着る服
あいもん　あえもん　古語【和(あ)へ物】《京》
　和え物　vegetable salad　野菜を酢味噌で和えた料理
あいもんなむる　和え物を食べる
あいや　古語【あいや】　否々それは違う　ちょっと待った
　②あれあれ　やれやれ　「あいや雨ばい」
あいやも　さては　あらまあ　はて困った oh! my god
あうがな　会えますとも　会えますよ
あうみゃー　あうめー　会うまい　②会わないだろう
あうゃーだ　あゑぇーだ　あゑゃーだ【扇いだ】　風で煽った
あうん　《梵語》ahûm　古語【阿吽】　相対の語　〔呼吸　善悪　表裏〕の意
あえ　古語【饗(あへ)】　酒食の持て成し　宴(うたげ)　饗宴(きょうえん)
あえーた　あやーた　物を落とした　(汚れを)落とした
あえじゃーた　あえでーた　(雨が)降り出した
あえた　落ちた　落雷　落果　降雨　汚れが落ちた
あえでなおった　少し降って止んだ　天気を持ち直した
あえもん　古語【和(あ)へ物】《京》　和え物　vegetable salad
　野菜を酢味噌で和えた料理
あえらいた　あえらした　あえらった　落雷した（事象敬語）
あえる　あゆる《日ポ》　古語【落(あ)ゆ】　落果　落雷
　②汚れが落ちる　③熟して落ちる　④降る
あえる　古語【和(あ)へる】　韲(あ)える　食材を混ぜ合わせる make salad
あえん　落ちない　②取れない　除去できない
あえん　古語【会えぬ】　会えない
あおー　あおあおばー　あよー（感嘆詞）　あらまー　おやおや《牛深　高浜》
あおあおなった　青味が増した　更に青くなった
あおうば　あうとなろー　あうとなろば　会うならば
あおか【青い・緑色】blue　②未熟だ green
あおぐ　古語【喘(あへ)ぐ】pant　息を切らす　息苦しくなる
あおくさか【青臭い】　生しい　青豆の味　②未熟だ green
あおざむる〈青褪める〉　顔の血色がなくなる　血の気が引く
あおし　あおすったん　熟れていない果物　②顔色が悪い人
あおじご〈青尻〉蒙古斑
あおじろか　青白い pale　②顔の血色がない
あおた　あおだ【青田】　出穂(しゅっすい)前の稲　②未成熟 green

あおたるる　あおたれ〈青垂れる〉　顔色が青白くなる
あおてんじょう【青天井】青空 blue sky　晴天 fine weather
あおなきなれ　おおなけ　あおむけ　仰(あお)向きになれ　上を向け
あおなく　古語【仰(あお)のく】　仰向く look up《日ポ・京》
あおなる　青くなる　②(恐怖で)顔面蒼白になる《京》
あおにしゃ【青二才】greenhorn　未熟者　若造　若輩 youth
あおにゃーて　あおむきなって　仰向いて　上を向いて
あおばな〈青洟〉　青味がかった洟(はな)　鼻汁
あおびき　雨蛙
あおびゅうたん〈青瓢箪〉　②痩せて顔色が悪い人
あおむく　仰(あお)向きになる
あおもん【青物】　野菜 vegetables　②鯖などの魚類《京》
あおやしゃー　あおやせー【青野菜】　青菜 greens　葉野菜
あおる【煽る】fan　強く扇ぐ　②嗾(けしか)ける《日ポ・京》
あか　あかご〈赤児〉　赤ちゃん　乳児 baby《京》
あか【淦(あか)】　舟淦(あか)　舟底に溜まった水
アカ　《梵語》argha　古語【閼伽(あか)】　仏前に供える水
あかあか　より明るく　煌々(こうこう)と
あがーん　あぎゃん　あげん　あの様な　あれ程の
あかい【明る】《牛深》〈る→い転音〉
あがい【上がる】go up　高い所へ移る　②雨が止む《牛深》
あかか　あきゃー　あっか【赤い】red　②明るい bright
あかがね〈銅〉copper　真鋳(しんちゅう)　赤褐色の金属
あがく　古語【足掻(あが)く】　もがく　手足をばたつかせる
あかくる〈淦(あか)繰る〉　舟淦を汲み出す
あかさいた　あかさした　証明した　打ち明けた
あがささ　あがンなごう　あのように長時間
あかし　古語【明かし　灯】　灯火　燈明　み明かし light
あかし　古語【証(あかし)】proof　証明　証拠
あがしこ　あぎゃしこ　あんだけ　あれ程　あれだけ
あがしこだ　あぎゃしこだ　あれ位は
あがしこンこつ　あぎゃしこんこて　あぎゃんも　あげんも　あのように沢山に
あかしんにょ〈赤信女〉　未亡人
あかする【飽かす】　飽くほど　充分に　ふんだんに
あかちょこべー　あかべー《京》　あかんべー　古語【赤すかべい】　赤目
　②反目の仕種　嫌だね
あがったり〈上がったり〉　すっかり駄目になる　切羽詰まる《京》
あがっだん【上がり段】　玄関から部屋へ上がる段
あかっとる　戸が開いている　②施錠してない
あかつち【赤土】　赤い土　壁材の土　陶土　粘土 clay

あかでにゃ　あかでん　あかんで　飽きないで
あがなう　古語【贖(あがな)ふ】　弁償する　償(つぐな)う
あがにゃ　あがんにゃ　あぎゃんにゃ　あげにゃ　あんなには
あかぬけとる　垢抜けている　都会的だ
あかねすい　得する　②儲かる《牛深》
あかノたにん【赤の他人】　自分と全く関係のない人
あかはぢかく　古語【赤恥(はぢ)】　人前で大恥をかく
あかはぢきゃーた　あかはぢけーた　恥かしい思いをした
あかばちかやる　顔色が紅く火照る
あかはら【赤腹】　井守　イモリ科の両生動物　②赤痢
あかべー【赤目】　あかんべー　拒否や軽蔑の表現《京都》
あがむ　あがむい《牛深》あがむる　古語【崇(あが)む】尊敬する
あからさま　古語　明白 clear　露骨　公然　あらわに
あからさみゃー　あからさめー　明白に　露骨に　公然と
あからす　明かる　晴天になる（事象敬語）
あがらす　お上がりになる　昇級なさる　②当選なさる
あからん《京》　あかん　古語【開かぬ】　扉が開かない　施錠してある
あかり【明かり　灯】電灯　照明 illumination　光 light
あがり　上納　②上達 advance　③終業　④当選 election
　⑤卒業 graduation　⑥game set《日ポ・京》
あがり【挙がり】　挙げ句　何かをした末　②食後のお茶
あがりがまち　古語【上り框(かまち)】　上がり段の框
あがりぐち【上がり口】　玄関から部屋へ上がる所
あがりはな　あがりばな　終業直後　仕事終了直後
あがりまっしょい　あがりやっしゅい　仕事を終わりましょう
あがりゆ【上がり湯】　掛かり湯　入浴後に使う濯ぎ湯
あかる　古語【明かる】　光が射す　晴れる clear　②雨が止む
あかる【開かる】open　扉が開く　②扉を施錠してない
あがる【上がる】go up　伺う　②昇格　③当選　④雨が止む
　⑤蚕が繭をつくる　⑥事を終える　⑦生理が終わる《日ポ・京》
あがる【揚がる】lift　揚げ物が煮える
あがろい　あがろだ　あがろだな　あがろわい　仕事を終わりましょう
あかん　古語【開かぬ】　開かない　②空きが無い
あかん　古語【飽かぬ】　飽きない　退屈しない　飽きがこない
あがん　あぎゃん　あげん　あの様に　あれ程の　あんなに
あかんがー　あかんたー　あかんとん　開かないが
あかんこつ　あかんにゃー　飽きないこと　よくも飽きないね
あがんこつ　あぎゃんこつ　あげんこつ　あんなこと
あがんこっば　あぎゃんこっば　あげんこっば　あんなことを
あがんて　あぎゃんて　あげんて　あんな物に　②あんな奴に

あかんと　あきやっせんと　飽きないのです　②懲りません
あがんと　あぎゃんと　あげんと　あの様な物
あがんところ　あぎゃんところ　あげんところ　あんな所
あがんとこれ　あぎゃんとこれ　あげんとこれ　あんな所へ
あがんとば　あぎゃんとば　あげんとば　あんな物を
あがんなっせ　あがんなはりまっせ　お上がり下さい
あがんなっせ　お召し上がり下さい　食べてください
あがんなはる　あがんなる《京》　お上がりになる
あがんにゃ　あぎゃんにゃ　あげんにゃ　あんなには
あき【空き】　空間　間隙 space　②余裕 room　暇な時間
あぎ　あご　あごた　古語【顎（あぎ・あご）】chin　顔の下部
あきあきした【飽き飽き】　すっかり飽きた
あきあさま　あきやさま【秋葉神社】　火難除けの神
あきおち【秋落ち】　収穫時期になって農作物の成育が鈍る
あきぐち　あっぐち【秋口】early autumn　初秋
あきご〈秋蚕〉　秋に飼う蚕
あきざくら【秋桜】　コスモス
あきしょう〈飽き性〉　飽きやすい性質
あきず　あけず【蜻蛉】　トンボ
あぎたたき　あごたたき　多弁家　冗舌家 chatter
あきたらでにゃ　あきたらんで　古語【飽き足らず】　不十分で
あきなう　古語【商ふ】　商売する　物品の売買をする trade
あきにゃー　あきねー　古語【商ひ】　商売　物の売買 trade
あきみず【秋水】　半夏（はげ）水　洪水
あきもせーでにゃ　…せーでん　…せんで　飽きもしないで
あきゃー　あっか【赤い】red　②明るい bright
あきゃーもん　あけーもん　赤いものだ　明るいものだ
あぎゃしこ　あげしこ　あしこ　あれだけ　あれ程
あぎゃしこンこつ　あげしこンこつ　あんなに沢山（たくさん）に
あきやした　飽きました　②懲りました
あぎゃにゃ　あぎゃんにゃ　あげにゃ　あげんにゃ　あれ程は
あぎゃん　あげん　あれ程　あの様に　あんなに
あぎゃんと　あげんと　あの様なもの
あぎゅうごたる　嘔吐を催す　②辟易する　嫌気がさす
あきらむる　古語【諦む】《梵語》　諦める give up　思い止まる　断念する
あきるい《牛深》　あきるる　古語【呆る】　呆れる
あきれかえる【呆れ返る】　すっかり呆れる　言いようがない
あきれはつる【呆れ果てる】　呆然とする　呆気にとられる
あく　古語【飽く　厭く】　飽きる　心行く　満足する《京》
あく　古語【灰汁（あく）】lye　野菜から出る渋い液

あく　古語【開(あ)く】 open　開(ひら)く　「店ン開く」
あくぁーんと〔擬態語(オノマトペ)〕　唖然と　ぼんやりと　気が抜けて
あぐい　古語【上ぐ】　上げる lift　②与える give《牛深》
あくごう　古語【悪業(あくごふ)】　報いを受ける様な悪事(仏教語)
あくささ　あくはざ　飽きるまで　心行くまで
あくしぇー　あくしゃー　古語【悪性(あくしゃう)】　迷惑　厄介　辟易する　②酒色に耽(ふけ)る
あくしぇうつ　あくしゃうつ　倦(あぐ)む　持て余す　うんざりする　辟易する
　困り果てる　迷惑する　嫌になる　厄介だ
あくしぇ(せ)く　せかせか　じたばた《京》
あくしぇ(せ)もん　あくしゃもん　厄介者　邪魔者　放蕩者
あくしぇ(せ)なもん　あくしゃ…　厄介だね　邪魔　持て余す
あくしこ　飽きる程　潤沢に　沢山に　満足な量　②長い時間
あくそ　あくそう【悪瘡(あくそう)】　化膿　②腫瘍　瘡(かさ)
あくぞもくぞ　近世語【芥】dust　藻屑(もくず)　②無益な物《京》
あくた《京》　あくたぎれ　近世語【芥】　塵埃(じんあい) dust　塵　屑 waste
あくたう　古語【悪態】　悪口雑言を言う　罵(ののし)る　誹(そし)る
あくだま　あくたれ【悪玉】 villain　悪人　心の悪い人
あくたれ　あくちゃー　あくてー【悪態】　悪口
あくたれもん　悪口を言う者　罵る者
あくちゃーづく　あくてーづく【悪態】　悪口を言う　罵る
あくつくり〈悪つくり〉　相手に害を及ぼす　憎悪感を与える
あぐっちぇーて　あぐっちゃーて　口を開いて　②傷が開いて
あぐっちゃく【開口(あくち)】　口を大きく開く　②傷が開く
あぐっちゃけ【開口(あくち)】　口を大きく開け
あくてー【悪態】　悪口
あくどか　古語【悪どし】　悪どい　諄(くど)い　しつこい　質が悪い　②味が濃い
　③色合いがどぎつい
あぐぬる　あぐねる　近世語【あぐねる】　倦む　持て余す　嫌気がさす
　うんざりする
あくばる　持て余す　嫌気がさす　うんざりする
あぐま　湾洞(わんどう)　魚が棲む岸の洞穴　魚の住処　窪み
あくまっでん　飽くまでも　最後まで　どうしても
あぐむ　古語【倦(あぐ)む】　飽きる　持て余す　嫌気がさす
あぐら　古語【胡座(あぐら)】　足座　安座　正座を崩す《京》
あぐらかく　古語【胡座(あぐら)】　足を組んで座る《京》
あくりょう　古語【悪霊(あくりゃう)】　怨霊　物の怪　祟りの霊
あくる　古語【明く】light　夜が明ける　②年や期間が終わる
あくる　古語【開く】　開ける open　開放する　②営業開始
あくる　古語【空く】　空ける　空間を作る　②暇ができる
あぐる　古語【上ぐ】lift　②供える　③与える give　④卒業させる

あぐる　古語【揚ぐ】 揚げる fry　油に浸して煮る　②高い所へ移す
あぐる　古語【挙ぐ】　挙式 perform　②名声を高める　③検挙する
あぐる　嘔吐する　反吐　食べたものを戻す
あくるあさ〈明朝〉　翌朝　一夜明けた次の朝
あくるどし〈明年〉　翌年　次年
あくるひ　あけノひ　あけンひ【翌日】next day　一日後
あぐゎあぐゎ〔擬態語（オノマトペ）〕　大きすぎてブカブカの状態
あくゎんとしとる〔擬態語（オノマトペ）〕　唖然としている　②口を開けている
あげ【挙げ】　過ぎて　終わってから　最後に
あげ【西風】west wind 《鬼池》
あげ【揚げ】fried food　揚げ物　天麩羅　フライ fry
あげーん　あげん　あの様な　あれ程の
あげあしとる　古語【揚げ足】trip up　ことば尻を取る
あけがた【明け方】　夜明け方　曙 dawn　朝ぼらけ
あげくのさんぱち　古語【挙げ句】　最終的に　結局の処
あけくらす　古語【明け暮らす】　月日を送る　②没頭する
あげしお　上げ潮　満潮
あげしこ　あれ程　あれだけ 《五和》
あげしこだ　あれ程は　あれ位は 《五和》
あけすけ〈明け透け〉frank　あからさま　露骨に《京》
あけせき〈開塞〉　戸や扉の開閉
あげぜんさげぜん【上げ膳下げ膳】　鄭重な持て成し　接待
あけだち　明け方　夜明け方　曙　朝ぼらけ
あげたりさげたり　誉めたり貶したり　煽てたり罵ったり
あげつくる　おべんちゃらを言う　煽てる
あけっぱなし〈開け放し〉　開放したまま
あけっぴろぐる　あけひろぐる　開放する　全開する《日ポ》
あげつらう　古語【論（あげつら）ふ】　罵る　議論する　煽（おだ）てる
あげな　あげん　あの様な　あれ程の《佐伊津　五和》
あけなんこみ　存分に　充分に《竜ヶ岳》
あげにゃ　あげんにゃ　あんなには《佐伊津　五和》
あけはたぐる　あけはたげる　開放する　全開する　②広げる
あけび【通草　木通】　アケビ科の蔓性落葉低木
あけむつ　古語【明け六つ】《梵語》　時報の鐘　朝６時
あげもしやっしゅう　古語【上げ申す】　差し上げましょう
あげもす　古語【上げ申す】 供える offer　差し上げる
あげもせ　古語【上げ申せ】　差し上げなさい
あげもそう　古語【上げ申そう】　差し上げましょう
あげもん【上げ物】　神仏へのお供え物　②僧侶へのお布施
あげもん【揚げ物】fried food　油で揚げ物　天麩羅　フライ

あげん　あの様に　あんなに
あげんこつば　あげんこっば　あんな事を《佐伊津　五和》
あげんと　あんなもの　②ことばに詰った時に言う
あげんとこれー　あんな所に《佐伊津　五和》
アゴ　飛び魚　トビウオ　トビウオ科
あごうっだす　顎を出す　へたばる　くたばる　伸びる
あこうなる　古語【明かうなる】　明るくなる《京》
あこうなる　あこなる　赤面する　皮膚などが紅くなる
あこぎか　あこぎなか【阿漕(あこぎ)】　貪欲　強欲　悪どい
あごしゃん　あごたたき　饒舌家　多弁家　②有言不実行者
あごた　あごたん《京》　古語【顎(あぎ・あご)】chin　顔の下部
あごだす　弱音を吐く　疲れる　諦める
あごたたき　多弁家　冗舌家 chatter
あごたたく　生意気を言う　②多弁　冗舌 chatter
あごンううか　口数が多い　多弁　冗舌 chatter
あごばかり　あごばっかり　口先ばかり　有言不実行
あごンたつ　あごンたっしゃか　弁舌に長けている　冗舌家
あごんつこくるごと　顎が落ちる程(美味しい表現)
あごンひやがる　食べていけなくなる　生活が困窮する
あさい　あさる【漁る】　魚貝を採る fish 《牛深》
あさおり　あさおれ　あさがた【朝折】　朝の時間に
あさか　あしぇ(せ)ー　あしゃー【浅い】shallow
あさがけ　古語【朝駆け】　早朝に事を済ます　②不意打ち　③朝方
あさくさきり〈朝草刈り〉早朝の草刈り
あざくる　古語【嘲(あざけ)る】　あざ笑う　人を小馬鹿にする
あさごち　古語【朝東風(こち)】　朝吹く東風
あさごっとき　朝極早い時刻　早朝に early morning
あさしごつ 【朝仕事】 早朝からする一仕事
あさだち　古語【朝立ち】　朝早く家を出る　②朝に勃起する
あさぢえ【浅智恵】　知恵が足りない　考えが浅い
あさぢゃ〈朝茶〉　朝の来客に接待するお茶
あさって　古語【明後日】
あさってンほう　方角違い
あさっぱち　…ぱら　…ぱり　…ぱる　古語【朝腹】　早朝　②朝食前
あざとか　近世語【あざとし】　浅はか　知恵が浅い
あざな　あだな　古語【字(あざな)　渾名(あだな)】nickname　愛称　通称
あざなう　古語【糾(あざな)う】twist　縄を綯(な)う　撚り合わせる
あさなゆうな　古語【朝な夕な】　朝夕に　朝晩　②何時も
あさねごろ　あさねぼう【朝寝坊】
あさはか　古語【浅はか】　考えが浅い　浅薄　軽率　②未熟

あさましか　古語【浅まし】　卑劣だ　見苦しい　情けない　さもしい
あさまじみ　あさまずめ　古語【朝朗(ぼ)らけ】　曙　夜明け《御領》
あさまらンたつ　朝に魔羅(ペニス)が勃起する
あざむく　古語【欺く】deceive　裏切る　だます　見くびる
あさめし【朝飯】　朝食 breakfast
あさめしまえ【朝飯前】　朝食前　簡単なこと　容易なこと
あさる　古語【漁る】fish　魚貝を採る　②掻き回す　捜す《日ポ》
あざるる　古語【あざれる】　巫山戯(ふざけ)る　②飽きる
あざれとる【巫山戯(ふざけ)る】　飽きる　辟易する　うんざりする
あざわるう　古語【嘲笑(あざわら)ふ】　軽蔑笑い　嘲り笑う
あしあるう　《梵語》下賤な仕事を止めて堅気になる
あしいれ　あしいれこん〈足入れ婚〉　婚儀の一
あしぇ　あしぇしゅづく【汗滴(しずく)】　汗水 sweat
あしぇー　あしゃー【浅い】　経験が少ない　色や味が薄い
あじぇ【畦】　畦畔　田と田の間を仕切る盛土
あしぇい　あしぇくい　掻き出す　②詮索する《牛深》
あしぇい【焦る】　気をもむ　苛立つ《牛深》
あしぇがる　あせる【焦る】　急き立てる　気をもむ
あしぇがれ〈焦れ〉　急げ hurry up
あしぇがんな　焦るな　急ぐな
あしぇくる　掻き出す　②詮索する　隠してある物を探す
あしぇぶ　あしぇぼ【汗疣(あせも)】
あじおうて〈味合う〉　味わって
あしかけ　古語【足掛け】　②年月をまたがって　通算して
あしぎ〈足木〉　稲架の支柱　《京》
あじくう　あじくらう〈味喰らう〉　あじしむる　癖になる　調子づく
あしくずしなっせ　正座を崩して安座になさいませ
あじくろた　あじしめた〈味占めた〉　癖になった　調子づいた
あしけ　あすけ　あっけ　古語【彼処(あしこ)】　あそこに
あじけなか　あじけにゃ　あじけむなか　あじけンなか　古語【味気なし】
　物足りない　張り合いがない　面白味がない
あしけにゃ　あすけにゃ　あの場所には
あしこ　あすこ　あっこ　古語【彼処(あしこ)】there　あそこ　②陰部
あしこしゃたたん〈足腰立たぬ〉　疲れ切って足腰が動かない
あじしむる　〈味を占める〉　癖になる　調子づく
あしじゃーた　あしでーた　②赤字を出した　欠損
あしつぎ　古語【足継ぎ】　踏台　梯子《日ポ・京》
あしでまとい【足手纏い】　仕事の邪魔
あしとる　揚げ足を取る trip up　ことば尻を取ってなじる
あしなえ〈足萎え〉　足が不自由である　正座して足が痺れる

あしなか【足半　足中】　爪先だけの草履
あしノさき　あしンさき【足の先】　足の指先　爪先
あしノつっぱる　あしンつっぱる　足が痙攣する
あしノつと【足の苞】　脛（脛が藁苞に似ている）
あしノはら　あしノひら【足の腹】　足裏
あしひっぱる【足引っ張る】　②妨げる　妨害する
あしふみ〈足踏み〉　足踏み式脱穀機　②足踏み式ミシン
あしふみざきもなか　あしふみざきゃなか　踏み入る隙がない
あじもささらもなか　…しゃしゃらもなか　…すすらもなか　味気ない
あじもせせらもなか　あじもそっけも…　味気ない　無味
あしもてーもおよばん　相手の力に及ばない
あしもとみすかす【足下見透かす】　相手の弱点を見破る
あしゃー【浅い】　経験が少ない　色や味が薄い
あしゃーぼうになる　足が疲れて堅くなる
あじゃらーっと　雑に　仮初めに　簡略に
あしらう　古語【あしらふ】arrange　待遇する　②取り合わせる
あじろ　古語【網代（あじろ）】　漁場
あすーっけ　あすーでけ　あすっけ　遊んでこい
あすーっさるく　あすっさるく　遊び回る
あすーどらん　あすどらん　遊んでいない　②常に働いている
あすーどる　あすどる　遊んでいる　②使用していない　③失業中
あすかー　あすこは　彼処は　あの場所は
あずかりしらん　全く関与しない　無関係だ
あずきめし　小豆ご飯
あすけ　あすこさにゃ　あすこさね　あすこさん　あそこへ
あすこ　あすこらへん【彼処（あそこ）】
あすこんと　あの家の所有物　あそこの物
あすっぎゃけーなー　あすびぎゃけーなー　遊びにおいでよ
あすなさ【明日の朝】　明朝 tomorrow morning
あすばかす　あすばする　あそばする　古語【遊ばす】
　遊ばせる　②使用しない　③休ませる
あすばすんな　遊ばせるな　②休ませるな
あすばせちくれ　あすばせっくれ　遊ばせてくれ
あすばせん　あそばせん　遊ばせない　②休まないで使用する
あすばれん　あそばれん　遊ばれない　遊んでる暇がない
あすばん　あそばん　遊ばない　②休まない
あすび【遊び】好きな事で楽しむ　仕事をしない　②間隙《京》
あすびあすび　遊びながら　遊び半分に
あすびがてら　あそびがてりゃー　遊び序でに《日ポ》
あすびぎゃけー　あすびげけー　遊びに来い

あすびごつ【遊び事】　散漫な仕事振り
あすびだろう　放蕩者　無就労者　プウタロウ《台湾》
あすびどうぐ〈遊び道具〉　玩具 toy
あすびなし　休憩なし　無休で働く　②間断なく使用する
あすびなっせ　お遊び下さい　ごゆっくりなさってください
あすびにん〈遊び人〉　身持ちの悪い人　無職人
あすびふうける　**あすびほうくる**《京》〈遊び惚ける〉　遊びに夢中になる
あすびほどき　遊び半分に　不真面目　不熱心
あすびまくる〈遊び捲る〉　大いに遊ぶ
あすびンある　余裕がある　②間隙がある
あすぶ　古語【遊ぶ】play　好きな事をして楽しむ　②使用しない《京》
あすぶみゃーだ　**あすぶめーだ**　遊ばないことにしよう
あすべ　**あすべな**〈遊べ〉　遊びなさい
あすぼい　**あすぼだ**　**あそぼい**　**あそぼだ**　遊びましょう
あずまや〈四阿〉　庭園にある屋根付き壁無しの休憩所
あする【褪せる】fade　退色する　色がさめる
あすんどる　**あそんどる**　遊んでいる　②使用していない
あせ　(あしぇ)　**あせしゅづく**【汗滴(しずく)】　汗水 sweat
あぜ　(あじぇ)【畦】　畦畔　田と田の間を仕切る盛土
あせい　(あしぇい)　**あせくい**　掻き出す　②詮索する《牛深》
あせい　(あしぇい)　【焦る】　気をもむ　苛立つ《牛深》
あせーもん　**あしゃーもん**　浅いものだ　浅いね
あせがらん　焦らない　急がない　ゆったりする
あせがれ　(あしぇがれ)〈焦れ〉　急げ hurry up
あせがんな　(あしぇがんな)　焦るな　急ぐな
あせきゃーて　**あせけーて**　苦労して　努力して　働いて
あせくっつらかす　**あせくる**　掻き回す　②詮索する　隠してある物を探す
あせくんな　掻き回すな　掻き出すな　詮索するな
あせごいか〈汗濃い〉　多汗症　汗っかき　②色魔
あせじゅっくり　**あせびっしょり**　汗まみれ　汗みどろ
あせったくる　掻き回す　②詮索する
あせとり〈汗取り〉　肌着
あせぶ　(あしぇぶ)　**あせぼ**《京》【汗疣(あせも)】
あぜまめ【畦豆】　田の畦畔に植える大豆《京》
あせみず　汗水 sweat　汗滴(しずく)　汗みずく　汗みどろ
あせる　古語【漁る】　魚貝を採る　②掻き出す　詮索する　物を探す
　③穀物を手返して干す《日ポ》
あせる【焦る】　気をもむ　苛立つ　慌てる
あせんな　急くな　慌てるな
あせんな　掻き混ぜるな　②詮索するな

あそうなる　あそなる　浅くなる
あた　あんた【貴方　貴殿】you　②夫の呼称
あた　古語【　徒(あた・あだ)　】　悪戯　邪魔　虚しい《日ポ》
あだ　古語【仇　敵　賊】　仇敵(きゅうてき)　敵(かたき)　②仕返し　恨み
あだがね　近世語【徒銀(あだがね)】　無駄金
あたかも【恰も】　丁度　まるで　さも
あだがりゃー　あだがるか　塩辛い　しょっぱい
あだぐち　古語【徒口(あだぐち)】　無駄口《京》
あたこつ　あたこと　あたっこつ　古語【徒事(ただごと)】　悪戯　邪魔
あたじゃー〈　慌(あわただ)　しく〉　狼狽して　うろたえて《日ポ》
あだじろか　古語【婀娜(あだ)白し】　妖艶な白さ　なまめかしい白さ
あたする　古語【　徒(あた・あだ)　】　悪戯をする　邪魔する　無益なことをする
あだちいて　古語【徒付く】　浮気心を起こして　浮ついて
あたっちらかす　あたっつらかす　誰彼無く突っかかる
あたっどし【当たり年】　果物等が豊作の年
あだな　古語【徒名　仇名(あだな)】　綽名　通称　愛称 nickname
あだになる　古語【　徒(あた・あだ)　】　無駄になる　悪い結果になる　疎かになる
あたばっかりして　古語【　徒(あた・あだ)　】　悪戯が過ぎて
あだばえ【徒生え】　播種しないのに自然に芽生えた苗
あだばな　古語【徒花】　結実しない花　無益な花
あたまうち　上限　限界　行き詰まり dead end
あたまうっだす　悩みや心配ごとで頭が痛む
あたまかず〈頭数〉　員数 number　人員　人数
あたまから　最初から　一番から　端から
あたまごなし〈頭熟し〉　決めつけて叱る　がみがみ言う
あたまつかう　思考を巡らす　よく考える　頭脳労働
あたまつむ〈頭摘む〉　散髪する　髪を切る
あたまにくる　あたみゃーくる　あためーくる　癇癪に障る　カッとなる　立腹する
あたまわり〈頭割〉　人数割り　②均等割り　割り勘《京》
あたまンしんノいたか　頭の芯が痛い
あたみゃーくる　あためーくる　癇癪に障る　カッとなる　立腹する　逆上する
あたらしかっがよか　新品がよい　「畳は…」
あたらしもん【新品】　未使用品　②珍品　③処女 virgin
あたらしゅうあたらしゅう　常に新しく　更新して
あたらん　当たらない　接触しない　②命中しない
あたり【辺り】　周辺 circuit　付近　側 side　傍ら《京》
あたり【当たり】　人当たり　応対 interview　②計測
あたりがさぶろう〈当たりが三郎〉　くじ運　当たりくじの運
あたりかんまず【当たり構わず】　周囲に気を配らないで
あたりきんぺん【辺り近辺】　周辺 circuit　近隣

あたりこっぺ【辺り一面】　そこらじゅう
あたりさわり【当たり障り】　差障り　支障
あたりつらかす【辺り散らす】　八つ当たりする
あたりノよか　あたりンよか　人当たりがよい　社交上手
あたりめ　スルメ　（験担ぎ）
あたる【当たる】　該当する　②担当する　③ぶつかる　突っかかる　③計測する
あたる〈中る〉　的中する hit　②中毒する　「鯖にあたる」
あたる　暖まる　暖を取る《京》「火にあたる」
あだるる　あだれる　飽きる　辟易する　閉口する
あたん　頭　「あたんノいたか」（幼児語）
あたンなる　あちゃンなる　**あてんなる**　古語【徒（あた・あだ）】　邪魔になる
あたんノやわらしか【当たり】　人当たりが良い
あちー　あつか　あったか【 暑い】　②熱い hot
あちーもん　暑い　暑いものだ　熱いものだ
あちゃー　あら　あらまあ　おや　おやおや
あちゃさん【阿茶さん】　唐人　〔中国人〕の呼称
あっ　あっだ　あっどま　あやっだ　あれ等　〔彼ら〕の卑語
あつう　あつうに　厚く　厚めに
あつうあつう　厚めに　より厚く（重複強調）
あつうして　あつうて　暑くて　熱くて
あつうげん　厚く　厚めに《楠浦　下浦　新和》
あつか【厚い】thick　②人情がこまやか hearty
あっか【赤い】red　②明るい bright《京》
あつかいにくぃ　あつかいにっか　あつきゃーにっか　扱いにくい　使い勝手が悪い
あつかう　古語【扱ふ】　物を使う　物や人を操る　弄る
あつかうな　触るな　手を触れるな
あつかましい《京》　**あつかましか**　遠慮がない　図々しい
あつかまっさー　厚かましいことだ　図々しいね
あっがれ【 皸（あかぎれ） 】　冬に手足の皮膚が割れて痛む
あっがれンつつく　皸が突っつくように痛む
あつかる【預かる】**あづかる** keep　頼まれ物を保管する　処理を引き受ける
あつくる　あづくる　古語【預く】deposit　預ける
あつくるしか〈暑苦しい〉
あっくぁりすっじぇ　がっかりだ　拍子抜けだ　気落ちした
あっけなか〈呆気ない〉　物足りない　張り合いがない
あっけらかん　古語【呆気らかん】　平然とした様子《京》
あっけん　あるけん　あるせん　あるから　あるので
あっこいしょ　あらよっこい　あら嫌だ　あらまあ
あっこうづく【悪口】　暴言を吐く　罵る
あつこうて　取り扱って　使用して　操って

あっさいしとい　(性格や味が)さっぱりしている《牛深》
あっさらーとして　(気性や味覚が)淡白で　さっぱりして
あっさりぐわっさり〔擬態語(オノマトペ)〕　さっぱりとして拘わりがない
あっさりしとる　(性格や味が)さっぱりしている
あっじゃっか　あっじゃっけー　あるもね　有るではないか
あっじゃどうい　あっじゃどうし　あれではどうして
あっじゃろう　ありじゃろう　彼だろう　②あの子ったら
あったーし　あったース　あったし　古語【熱し】　熱いっ
あったいや　あったかい　あったんな　…ね　有ったのか
あったか【暑い】　②熱い hot
あったかい　あったきゃー　あったけー　ありましたか
あったかて　あったかてー　あったかとに　暑いのに
あったかなー　あったかにゃー　あったかねー　暑いですね
あったかなー　あったなー　あったねー　有りましたか
あったかめーにあう　暑い目に遭う　暑い思いをする
あったからすどで　あっとうあんなすどで　お暑いでしょうに
あっだけ　あれしこ　あれだけ《京》
あっだけ　あるしこ　あるだけ　ある限り　在庫全部
あったさー　あっちー　あってー　あってゃー　暑いな　②熱いなー
あったしゃー　あったせー(しぇー)　暑さに　暑がって
あったせんか　あったで　あったでか　あったんで　あったので
あったつ　あったと　ありやしたと　あったのです
あったっがー　あったっぞー　あったっばえ　あったのだよ
あったっじゃっとん　あったとん　あったのだが
あったったもん〈有り足りた物〉　身近にある物
あったっちゅうかい　あったろうかい　あったのだろうか
あったっどもん　あったでしょう
あったつな　あったとな　あったんな　あったのですか
あったてー　あったとこれ　あったもね　有ったのに
あったとー　あったっかい　…きゃー　…けー　あったのですか
あったまる【暖(あたた)まる】　暖かくする　部屋などを適温にする
あったむる　あっためる【温(あたた)める】　食品などを加熱する
あったもね　あったではないか
あったらしか　古語【惜(あたら)しい】　惜(お)しい　②勿体ない
あったりーろ　あったりろ　あったろかい　あっただろうか
あったろう　あったろうば　あったろば　有ったならば
あったろが　あったろもん　あっつろが　有ったでしょう
あったろかい　あっつろかい　有ったでしょうか
あっち【彼方】there　余所　あちら　②外国《京》
あっちー　あっちさね　あっちさん　あっちゃん　彼方へ

あっちいたとけ　あっちいたとれ　彼方へ行っておれ
あっちぐち　あっち側　先方　余所　他所
あっちこっち　処々方々　あちらこちら　《京》
あっちさね　あっちさん　あっちゃん　あっつぁん　彼方へ
あっちびんた　あっちべた　あっちべら《京》　向こう側
あっちみーて　あっちみて　彼方を向いて
あっちみーとる　脇見している　他所を向いている
あっちみーてろ　あっちみんみろ　彼方を向いてご覧
あっちむき　反対向き　余所向き　②不向き
あっちゃいて　有るのに　有ったのに《佐伊津　牛深》
あっちゃいろ　あっちゃろかい　あっどかい　あっどかにゃ　有るのだろうか
あっちゃかー　あっちゃかんね　有るのではないか
あっちゃかっちゅかい　あるのではないだろうか
あっちゃこっち　**あっちゃこっちゃ**《京》　反対に　あべこべに
あっちゃって　あっちゃっとん　あっとん　有るのだが
あっちゃならんこつ　不測の事態　不慮の事故
あっちゃもん　あっちゃん　あっとじゃん　あるのです
あっちゃろもん　あっどね　あっどもん　有るのでしょうね
あっちゃん　あっつぁん　彼方へ　あちらへ　あっちへ
あっちゃん　あっとじゃん　あります　あるのです
あっちゃんば　有るのだ《牛深》
あっちゅかい　有るだろうか
あっつろうば　あっつろば　有ったならば
あって　あってん　あってんが　だって　でも　しかし
あっで　だから　だって　それで　でも
あってー　あっとこれ　あっとに　有るのに
あってぇーもん　あってゃーもん　暑いものだ
あってが　あってにゃ　だって　だけど　でも
あっでか　あるけん　あるせん　有るから　在るので
あっでさい　あっでじゃん　あっでわい　だからだよ
あってどい　あってどーい　だけどどうして
あってまー　あってにゃー　あらまあ　だって　だけど　でも
あってん　あっとん　だけど　だって　しかし
あってんかんじゃ　だけど　だって《竜ヶ岳》
あっと　あっとばい　あっとべー　有る　有るのだ　有ります
あっとー　あっとな　あっとね　有るのか　有りますか
あっど　あっどだ　あっどもん　有るだろう　有ると思う
あっとあらゆるもん　有ると思われるすべての物
あっとうい　あっとうして　あっとうて　暑くて　熱くて
あっとうござすなん　あっとうなりやした　暑くなりましたね

あっとうなった　暑くなった　熱くなった
あっどか　あっどかい　あっどかにゃ　ありーろ　有るだろうか
あっどが　あっどもん　あろうが　有るでしょう　有るだろう
あっとがー　あっとぞ　あっとびゃー　あっとべー　有るよ
あっとさい　あっとさな　あっとさね　あっとされば　あるのですよ
あっとたー　あっとばい　あっとねー　有るのだな
あっどま　あっどみゃ　あやっだ　彼らは　奴らは
あっどみ　あっどん　あやっどみ　〔彼ら〕の卑語　奴等
あっどもん　あろうもん　有るでしょう
あっば　ありば　あるば　あれを　あの品を　あの人を
あっぱあっぱ　大きすぎ　ぶかぶか
あっぱっぱ　夏用の簡単服《京》　②開けっぴろげ
あつひゃー　あつへー　熱い灰
あつむる　古語【集む】　集める
あつめにゃん　あつめんばん　集めなければならない
あつらゆる　古語【訛(あつら)ふ】　訛える order　②注文する　依頼する
あつる　古語【当つ】hit　当てる　割り当てる　言い当てる
あつる　あてる《京》　水田に水を張る　「水あつる」
あて　古語【当て】　目的　見込み　頼み　②小楯(こだて)　③酒の肴
あてーする　当て込む　②期待する
あてーならん　あてならん　期待できない　頼みにならない
あてーンなる　古語【徒(あだ)】　徒になる　邪魔になる
あてがう　古語【宛行(あてが)ふ】　割り当てる　与える　②添えて導く
あてぎー　あてぎゃー　あてげー　古語【宛行(あてが)ひ】　割り前　仕事配分　役割分担
あてぎゃーぶち　古語【宛行(あてが)ひ扶持(ふち)】　割当てた食糧
あてぎゃーは(ワ)あって　相応の責任感を持っている
あてぎゃーンなか　責任がない　頼みにならない
あてごうていっちょく　与えて任せる
あてこすり【当て擦り】　皮肉 irony　嫌味　面当て　②燐寸(まっち)《京》
あてすっぽ《京》あてっぽし　あてっぽす　当て推量
あてっくだっせ　あてなっせ　(座布団を)お当て下さい
あてつくる【当て付ける】hint　面当て　割り当てる
あてつけがましか　言動が皮肉っぽい
あてどん　失せ物や祟りなどを言い当てる術者　占い師
あてならん　期待できない
あてん　当てない　割り当てない　指摘しない
あてンかわンひっちごうた　当て違いした　期待外れた
あてンはずるる　あてンはずれる　期待が外れる
あど【後脚・後肢】　踵(きびす)　踵(かかと) heel　足の後部　②靴の踵
あとあじンわるか　食後に残る不味い味　②事後の不快感

あとあと【後々】　ずっと後まで　以後永久に　未来永劫
あといり【後入り】　後妻　二番添え second wife
あとぅえ　あとえ　あとべ【後追い】　幼児が親の後を追う
あとかい《牛深》　あとかり　あとかる　後で
あどかす　掻き乱す《高浜》
あとがま【後釜】　後任　②後妻 second wife
あとくされ【後腐れ】after troble　事後の揉め事
あとくち【後口】　後味　②事後の申込　「後ロン悪か」
あとくそンわるか【後糞】　後味が悪い
あとげつ〈後月〉　先月　前の月　去月《京》
あとさきーなる　前後の順序が逆になる
あとさく【後作】　裏作　主要作物の間に他の作物を栽培する
あとしき【跡式】　相続　家督　跡取り
あとじぇ(ぜ)き【後塞(せ)き】　出入り後に戸を閉めること　戸で塞ぐ（堰く）
あとしのべ【後忍べ】settlement　後片付け　②見苦しいものを隠す
あとすざり　あとすだり【後退(ずさ)り】step back　後しざり　後じさり
あとぞい　あとぞえ【後添え】　後妻 second wife《京》
あとだえ　古語【後絶ゆ】　後絶え　継承者が居なくなる
あととり【家の跡取り】　嫡男　②跡目　相続人《京》
あとばら　古語【後腹】　出産後の腹　②一段落した後
あとばらンせく　出産後の腹痛　②事後処理の出費で気が塞ぐ　後悔する
あとびき【後曳き】　お茶の注ぎ口から滴がたれる
あどふむ　あどふんちゃぐ【後脚・後肢】　靴の踵を踏み潰す
あどる　言い淀む　言い惑う　まごつく
あながち　古語【強(あなが)ち】　一概に　まんざら　必ずしも
あなぐら【穴蔵】　貯蔵用の穴　洞穴
あなじぇ(ぜ)　北西の風《大矢野　牛深》
あなどる　古語【侮る】　軽く見る　見下げる
あなまたぐされ　指間の湿疹　皮膚病　水虫《日ポ》
あにき　あにじゃ　あんじゃもん【兄貴】elder brother　兄《京》
あにゃーひゃーる　あねーへーる《五和》　穴へ入る
あねさん　あねじょ〈姉上　姉嬢〉elder sister　姉さん
あのようなこつば　あのよなこっば　あんな酷い事を　無茶
あば　新品　初物　初下ろし　更の品　②処女 virgin
あぱあぱしとる　ぶかぶかしている
あばおろし　初下ろし　新品を初めて使う　②初体験
あばかん　溢れる　はみ出る　沢山(たくさん)　存分　潤沢《日ポ》
あばききらん　あばっきらん　溢れる　はみ出る　②沢山に
あばく【暴く】expose　秘密を暴露する　掘り出す
あばくる《日ポ》　あばける　化膿する　火傷の傷口が爛れる

あばたづら　あぶだ【痘痕(あばた)】《梵語》pock mark　天然痘の後遺症　痘瘡後に残る傷あと
あばら　あばらぼね【肋骨】rib　胸の骨　隙間
あばらや　古語【荒(あば)ら屋】　荒れ果てた家　②自宅の謙称
あばりんとして　唖然として　《高浜》
あばるる　古語【暴る】　乱暴する　騒動する
あばるんな【暴れるな】　乱暴するな　騒動するな
あばれかすな　暴れさせるな
あばれもん【暴れ者】　乱暴者　異端者
あぶくぜん【泡銭】　労せずに得た金
あぶし　畦　畦畔　田畑の土手
あぶする　あぶせる　古語【浴す】　浴びせる
あぶなか　あぶなしか　あむなか【危ない】dangerous　危険
あぶにゃー《京》　あぶねー　危うく　危ない処で　辛うじて
あぶのーい　あぶのうして　危な気だ insecurity　不安だ
あぶのうなか　あむのうなか　危なくない　安全だ
あぶらうる〈油売る〉　②仕事を怠ける《京》
あぶらぎっとる　あぶらぎる　皮膚が脂肪で光る　脂肪過多
あぶらげ【油揚げ】　揚げ物 fried food《京》
あぶらすまし　あぶらすめ　搾油　「油澄めどん」搾油所・精油所
　搾油して不純物を除去する（澄ます）
あぶらすむる〈油澄むる〉　搾油する　精油
あぶらひく　油を敷く　油を塗る
あぶりこ　古語【焙(あぶ)り籠(こ)　炙り子】　餅や魚等を焼く金網
あぶる　古語【浴(あ)ぶ】bathe　浴びる　②体に受ける　被る
あぶる【炙る　焙る】　火にかざして軽く焼く roast《京》
あふるる　古語【溢(はふ)る】　溢れる　容器から零れる overflow
あぶれもん【溢れ者】　浪人　失業者　ならず者
あべこべ　互い違い　ちぐはぐ　反対　逆様
あべさする　古語【浴す】　浴びさせる　入浴させる
あほ　あほたん　あほんだら　あんぽんたん　古語【阿呆】fool
　阿呆蛇羅経を文字ったことば《日ポ》　馬鹿　頓馬　間抜け　外れ者
あぼ　あぼー　あぼうどん　あぼさん　あぼどん　兄さん
あぼしゅ　あぼしゅー　兄　②若者　青年衆 young man
あほらしい《京》　あほらしか　馬鹿馬鹿しい　引き合わない
あまい　暴れる　騒ぐ《牛深・苓北》
あまうち　古語【雨打】　雨落　雨内　軒下
あまえかす　あまえきゃーとる　あまえけーとる　甘やかす
あまか【甘い】sweet　塩甘い　声が優しい　②手緩い loose
あまがい　あまがえ　あまがゆ【甘粥】　甘酒
あまがみ【甘噛み】　（獣などが）じゃれて軽く噛む

あまがりー　あまがるか【甘辛い】
あまがわ　古語【甘皮(あまかは)】　木や果実の内側の薄い皮
あまくさぞう【天草族(ぞう)】　天草土着の人　一族　子孫
あまぐされ【雨腐れ】　雨に濡れて腐る
あまごい　古語【雨乞ひ】　神仏に降雨を祈願する
あまざらしひざらし【雨晒し日晒し】　雨や日光に晒す
あまずっぱか　甘酸っぱい
あまたらしか　あまったらしか　甘ったるい　甘い
あまちぎる　甘味が強い
あまつさえ　古語【剰へ(あまつさ)】　その上　更に　そればかりか
あまったれ　甘えん坊　我儘な児
あまったろうば　あまっつろうば　あまろうば　余ったならば
あまっどもん　あまろうもん　余るでしょう
あまねく　古語【普く(あまね)　遍し(あまね)】universally　広く一般に　全てに
あまめ　油虫　ゴキブリ cockroach　ゴキブリ科の昆虫　②フナムシ
あまめ　舟虫　海岸などにいる昆虫
あまゆい《牛深》あまゆる　古語【甘ゆ】fawn　甘える　好意に頼る　②我儘を云う
あまゆんな　甘えるな
あまらん　古語【余らぬ】 余らない　余裕がない　残らない
あまりかかる　あまりかくる　じゃれつく　巫山戯(ふざけ)掛ける
あまりこぼりしとる〈余り零れ〉remain　充足　満足する
あまりもん【余ら物】　使い残し　余分物
あまりゃーせんどかい　余りはしないだろうか
あまる　戯れる　巫山戯(ふざけ)る　じゃれる
あまンじゃく《京》　あまンしゃぐま　古語【天の邪鬼】《梵語》
　捻くれ者　へそ曲がり　つむじまがり
あまんな　巫山戯(ふざけ)るな　じゃれるな　戯れるな
あみゃーもん　あめーもん　甘いものだ　寛大
あむない《京》　あむなか【危ない】dangerous　危険だ
あめんあゆる　雨が降る
あめんちょ　あめんちょろ【飴】 canday　砂糖を主材料とした洋菓子
あも　あもあも　幼児語　お化け
あもうい　あもうして　甘くて
あもうしなる　あもうひなる　甘くなる　②緩くなる
あやーた　落とした　②紛失した　③除去した
あやかす　古語【落(あ)ゆ】fall　落とす　②汚れを落とす
あやかる　古語【肖る】　優れた人に感化して似る《京》
あやしか【怪しい】　疑わしい　信用できない　秘密がありそうだ
あやしゅぅなる　怪しくなる　様子がおかしくなる
あやす《日ポ》 古語【落(あ)ゆ】fall　物を落とす　②遺失する　③汚れを落とす　④零す

あやす　子どもの機嫌をとる　子どもを宥(なだ)める fondle
あやつ　古語【彼奴】chap　〔あの人〕の卑語　彼　奴
あやつだ　あやっだ　奴等は　彼等は　あの子等は
あやばしか　危なっかしい insecurity
あやふっきる　息を切らす《大道》
あやふや　曖昧　ambiguity　vague　不明瞭《京》
あやまち　失敗　事故　怪我
あゆうで　あゆで　古語【歩(あゆ)ぶ】walk　歩いて
あゆうでさるく　あゆっさるく　ありーっさるく　歩き廻る　出歩く　彷徨(さまよ)う
あゆうでな　あゆうでね　あゆうでや　古語【歩(あゆ)ぶ】　歩いてですか
あゆっけ　ありーっけ　古語【歩(あり)く】　歩いて来い
あゆばえん　あゆびえん　あゆびきらん　歩けない
あゆばん　あゆぼごんなか　歩かない　歩きたくない
あゆびきる　あゆびゆる　歩ける　歩くことが出来る
あゆびつけとる　歩き慣れている　常々歩いている
あゆびでノある　あるきでンある　歩く距離が長い　②歩く運動量がある
あゆぶ　ありく　古語【歩(あゆ)ぶ】　歩く walk
あゆぼい　あゆぼだ　あゆぼわい　歩きましょう
あゆる　古語【落(あ)ゆ】　落果　落雷　汚れが落ちる　②降雨　《日ポ》
あゆる　古語【和ゆ】　和える　韲(あ)える　色々な食材を混ぜ合わせる
あよ　あよあよ　あよまた　あろー　あらま　おやおや
あよっこい　あよっこいしょ　あら…　あらまー　弱ったな　やれやれ oh! my god
あよわしい　あよわしか　弱々しい　貧弱だ　不安だ
あら【粗】　魚料理で刺身を作った残り部分　②欠点《京》
あら　あらー　あれ　おや　ほら　あれは　《京》
あらあら　古語【粗々(あらあら)】　大雑把　②殆ど　大体　大方
あらあらい　あらありゃー　あらあれー【粗洗い】　軽く洗う
あらいこ　ありゃーこ　あれーこ　粉石鹸
あらいご　ありーいごう【洗い井川】　野菜洗い場　　洗濯場
あらいざらい　あらいざれー〈洗い浚い〉　包み隠し無く　《京》
あらいざらし〈洗い晒し〉　色褪めした衣服
あらか　古語【荒い】wild　粗雑で激しい　乱暴　②厳しい
あらか　古語【粗い】　目が粗い　大雑把
あらがう【抗う】　逆らう　反抗する　抵抗する　言い争う
あらかた【粗方】almost　殆ど　大体　大方　大部分《京》
あらかる〈粗かる〉　大体片づく　完了間近
あらきゃーて　あらけーて　あれーて　荒らして
あらくたましか　古語【荒くまし】　荒っぽい rough　粗暴
あらくる〈粗ける〉　大方仕事が片付く　大部分終了する
あらぐる　声を荒くする　大声を出す

あらぐれ〈粗塊〉　粗い土塊を細かくする　粗田を犂き返す
あらぐれかき〈粗塊掻き〉　粗田の犂き返し　植え代の前準備
あらぐれつくる　粗い土塊に水を浸して掻き均す　植え代
あらごうて【抗うて】　逆らって　反抗して　抵抗して　言い争って
あらさー　あらさどうか　荒いことよ（粗暴をいなす）
あらさがしする　あらさがす　欠点を暴き出す《京》
あらじゃこて　あらじゃね　あらじゃま　有る筈だ　必ず有る
あらす　あらっす　あられる　お有りになる
あらたか　古語【灼か】　神仏の霊験が著しい　ご利益がある
あらだき【粗炊き】　魚の粗を煮付けた料理
あらなわ　藁で綯った縄
あらぬか【粗糠】　籾殻　玄米を取った殻
あらばんじょう【粗万状】　粗雑に　荒々しく
あらひきだす　古語【荒　粗】　人の失敗や欠点を暴く
あらぶり〈荒降り〉　勢いよく降る雨
あらまし　大略 nearly　概略　大凡　大方　一通り《京》
あらよっこいしょ　あらまー　弱ったな　やれやれ oh! my god
あられむなか　あられむにゃー　古語【有られぬ】あるはずがない　とんでもない
あられんこつ　望ましくないこと　とんでもないこと
あらンこつ　古語【有らぬ】　関係無いこと　他のこと
あらンほうみーて　他の方を見て　②視線を反らして
あり　ある　奴　あれ　②あそこにある物
ありあわせ【有合】ありやー at hand　その場にある残り物
ありー　ありきゃー　…けー　…や　あんね　あれか　②奴か
ありーろ　あるだろうか　残っているだろうか
ありえん【有り得ぬ】　有るはずがない　不可能
ありか　古語【有り処】　物の在る処　所在　②隠れ家
ありが　あるが　あれが　あ奴が
ありかい　ありきゃー　ありけー　ありやー　あれですか
ありがごて　彼のように　あ奴のように
ありがたか　ありがちゃー　ありがてー　古語【有り難し】《梵語》
ありがつ　ありがと　あるがつ　あるがと　彼の物
ありから　ありかる　あるかり　あれから　あれ以来　その後
ありきたり　あり振れている　②元からある
ありきり　ありぎり　古語【有り切り】　全部《京》
ありぎり　あの時以来　あの時を最後に
ありく　古語【歩(あり)く】　足で動く　何かをして廻る
あり こり そり　どり　あれ これ　それ　どれ　〈れ→り転音〉
ありさにゃ　ありさね　ありさん　あそこへ
ありしこ　あれしこ　あんだけ　あれだけ　あれ程

ありそうな　ありそうなもん　あるごたる　ありそうだ
ありてい【有体】 truth　有りのまま　正直に
ありば　あるば　あれを
ありふれとる【有り触れ】common　何処でもある　珍しくない
ありまっしぇ(せ)ん　ありやっしぇ(せ)ん　有りません
ありも　あれん　あれも　彼も
ありも こりも そりも　あれも これも それも　手当たり次第
ありもせんこつ　事実でないこと　有り得ないこと
ありや　ありやー【有合】　有り合わせ at hand　その場にある残り物
ありゃ　ありゃー　あれっ　あれぇ
ありゃ　ありゃー　あれは　あ奴は
ありゃありゃ　あれあれ　あれよあれよ
ありゃー　あれー【粗い】coarse　②荒い wild
ありゃーこりゃすんな　あれこれ気を散らすな
ありゃーすっどばって　あるにはあるだろうけど
ありゃーせんどかい　ありはしないだろうか
ありゃーた　あれーた　荒らした
ありゃーとる　あれーとる　荒らしている
ありゃーもん　あれーもん　荒いものだ　乱暴なものだ
ありやす　あります　ございます
ありやすど　あるでしょう
ありやすどかい　あるでしょうか　実施されるでしょうか
ありやすみゃー　ありやすめー　ありますまい　ないでしょう
ありやっせん　ありません　ございません
ありゃよっこいしょ　あらどうしましょう　やれやれ oh! my god
ありように　古語【有り様】　実際に　ありの侭に　隠しなしに
ありよか　ありよっか　ありよった　ありよりか　あれよりも
ありよなはなしが　実際の話が　ありのまま話せば
ありよる　実施されている　行われている
ありよンところ〈有り様の処〉　実のところ　実際の話が
ある　奴　あれ　彼　②奴か　あれか　③あそこにある物
ある　催される　実施される　②何時か　「祭ンある」
あるう【洗う】wash　洗い流す　汚れを落とす　②詮索する
あるうた　あるた　あろた【洗った】　清めた
あるうっけ　あるうてけ　あるっけ　あろっけ　洗って来い
あるうてへーとく　洗って干しておく
あるうとけ　あるとけ　あろとけ　洗っておけ
…あるか　…状態か　…ですか　「今、何時あるか」
あるがー　あるばえ　有るよ　在るのだよ
あるかい　あるきゃー　あるけー　あるね　あるや　有るか

あるかんかい　歩きなさい　②早く行きなさい《京》
あるぎー　あるぎっと　あるぎりゃ　あるぎんにゃ　有るなら
あるぎり【在る限り】　全部　ある間　在庫分だけ
あるけん　あるせん　有るから　在るので
あるこつなかこつ　有ること無いこと　何でも
あるささ　あるはざ　有る間　在庫分だけ
あるさにゃ　あるさね　あるさん　あれー　あそこへ
あるじぇ　あるっぱい　あるっぱな　あるっぺー　有りますよ　《佐伊津》
あるしぇ(せ)な　あるっしぇ(せ)な　有るので《佐伊津》
あるしこ　有るだけ　残り全部
あるっかい　あるとなー　有りますか《佐伊津》
あるば　あるばっ　あるばって　だけど《新和》
あるばい　あるわい　有るかもしれない
あるばえ　あるびゃー　あるべー　あるもん　有るよ
あるはざ　有る間　在庫分だけ
あるはざーなか　あるはざなか　ある筈がない
あるばしするごつ　あるばしノごつ　あるばしンごつ　有る筈がないのに
あるばって　そうだけど
あるべし　当然あること　必ずあること
あるみゃー　あるめーだ　あるめーもん　無いだろうよ
あるもね　あろが　有るではないか
あるもんか　あるもんきゃー　あるもんけー　有るものか
あるもんで　有合せで　その場に有る物で　残り物で
あるよか　あるよっか　あるよった　あるよるか　あれよりも
あるる　古語【荒る】　荒れる　②乱れる　③寂れる《京》
あれ　古語【彼(あれ)】　奴　②あそこにある物
あれー　あれーこ【粗粉】　米の粉　餅取粉
あれーもん　洗濯物
あれーよかとん　あればよかばって　有ればよいが
あれきゃーとる　あれけーとる　荒らしている
あれば　あろうば　有るならば　在ったならば
あれば　あろば　それでは　それならば　だったら
あればあるもん　たくさん有るものだ
あればよかて　あれば良いのに
アレルギー　《ドイツ語》Allergie　過敏症体質
あれん　荒れない　穏やかである
あれん これん それん　あれも　これも　それも
あろ　あろー　あろば　それでは　それならば
あろー　あろばー　おやまあ　まあ　どうしましょう
あろうかい　あろうきゃ　あろうけ　あろうに　有る筈がない

あろうがなかろうが　在ってもなくても
あろうこつか　不測の事　あってはならないこと
あろうば　あろば　有るならば　有るようであれば　それでは
あろうはずがなか　あろうはずンなか　有るはずが無い
あろうもんなろ　有るものなら
あろば　それでは
あろバまたどん　それでは又にでも
あわぐ【煽る】fan　扇子などで風を送る
あわくう〈泡食う〉　驚き慌てる　度肝を抜く　狼狽する
あわげ【煽げ】　扇子などで風を送れ
あわする　古語【会わす】　会わせる　面会させる
あわする　古語【合わす】　合わせる　同調する　②混合する
あわつる　古語【慌つ】　急く　狼狽(うろた)える《日ポ》
あわつんな　慌てるな　急ぐな　狼狽えるな
あわてふためーた　大慌てした
あわてもん　あわてんぼ【慌て者】
あわふっかぶる　沸騰して泡が噴きこぼれる
あわぶく　あわぶっく　あわぶっつ　【泡粒(あわつぶ)】
あわん　古語【会わぬ】　会わない　会いたくない
あわん　古語【合わぬ】　合わない　②採算がとれない
あわンずく　会わないまま
あわんとンあいどがー　あんなのがあるだろう《牛深》
あゑぇーだ　あゑゃーだ【扇いだ】　風に煽られた
あゑぇーっくれ　あゑゃーっくれ　扇いで呉れ
あん【彼(あ)の】　彼(か)の that　あれ　あそこの　「あんわれ」
アンカー anchor　錨　船を停泊させるため海底へ降ろす錘
あんかんと　古語【安閑(あんかん)】leisure　安気に　呑気に　ぼんやり
あんき　古語【安気】　安泰　気楽 ease　心配ない　呑気《京》
あんきか　古語【安気だ】　気楽だ　心配ない　呑気だ
あんくりゃーだ　あんくりゃどま　あんくりゃどん　あれ位は
あんくれーだ　あんくれどま　あんくれどん　あれ位は
あんけんとして　安気にして　呑気で　ぼんやりして
あんご【姉】elder sister 《楠甫》
あんこらー　あんじぶんな　あんとうじゃー　あの頃は
あんさん　あんち　あんちゃん　兄　兄さん
あんし〈あの衆〉　あの人たち
あんじあたらん〈暗示〉hint　思い当たらない　②懲りない
あんじあたる　あんじつく　思い出す　思い当たる
あんじあんじして　よく噛んで（幼児語）
あんじがけんなか　思いも寄らない

あンしこーみろ〈姿格好〉　あの格好を見ろよ
あんじごと【案じ事】　思案 thought　考え事　心配事
あんじださん　あんじつかん　思い出せない　考えが及ばない
あんじてみれば　考えてみれば　顧みると
あんしと　あんひと　あんふと〈あの人〉　彼(か)の方
あんじもせん　思いもよらない
あんじゃもん【兄者者】　あんしゃん　あんやん　兄さん elder brothe
あんじゅ【庵住】あんじゅさん　庵の住職　②尼僧 nun《京》
あんじょ　あの子　彼(か)の人　②あ奴
あんじょう　古語【あんぢょう】 首尾良く　具合良く《京》
あんじる　あんずる【案じる】　思慮する　心配する《京》
あんじん　思わない　思ってもいない
あんた【貴方　貴殿】　あなた you　②夫の呼称
あんたえ　あんたげ　あんたとこ【貴家】　貴方の家　貴宅
あんたがた　あんたし　あんたたち　あんたち　あなた方
あんたが大将　高慢ちき　野放図（罵言）
あんたじゃろー　あんたもあんた　あなたとしたことが
あンちきしょう　あんつくしょう【畜生】brute　あの野郎
あんつれ　あの連中　②あの種類　あの類(たぐい)　一連の
　「あんつれんとんとんとつれんとん」
あんて　あの種類　②あの型式　③あの手法
あんで　だから　ですから《牛深》
あんなー《京》　あんにゃー　あんねー　あんのー　あのね
あんなーり　あんなり《京》　あの時以来　あのまま
あんなさる　あんなす　お在りになる　「達者ぅあんなす」
あんなし【餡無し】　餡がない餅や団子のこと
あんなり　あの服装　あの格好《京》
あんなれ　あんなん〈あの汝〉あんひと　あんふと　あの人
あんにゃ　あんねー【案内】guide　知らせ　手引き　②招待
あんね　あんねさん【姉】elder sister　姉さん　②婦人
あんの こんの そんの　あれとか これとか それとか
あんのじゅう【案の定】　案じた通り
あんのだら　有りのままを　真実を《上津深江》
あんばい《日ポ・京》 あんびゃ　あんべー　古語【塩梅(あんばい)】　塩加減taste
　②程合　体調 condition　調子 tune
あんばンよか　あんびゃンよか　あんべンよか　塩加減がよい
　②具合がよい　気分がよい mood
あんびあんび　幼児語　よちよち歩き
あんひた　あんふた　あんまりゃ　あんわりゃ　あの人は
あんびゃーみー　あんべーみー　成り行きを見定める　観察

あんびゃンわるか　あんベンわるか　具合が悪い　気分が悪い
あんぼし　干し柿《牛深　河浦》
あんぽん　あんぽんたん　人を小馬鹿にして言うことば
あんま　あんまり　古語【余り】《京》　余りにも　非常に　たいして　それ程
あんまい《牛深》　余りにも　非常に
あんまっぞ　あんまりぞ　…じゃん　酷過ぎるよ　過酷だよ
あんまりしたこつ　余りにも酷いこと
あんまれ　あんわり　あんわれ〈あの吾〉　あの人　彼 he
あんもん〈あの者〉　あの人　彼 he《高浜　大江》
あんやん　彼　兄さん　elder brothe
あんよ【足】　歩行　(幼児語)《京都》
あんわんノつ　あの人の物《竜ヶ岳》

トップページへ戻る